

# 道徳教育の全体計画

日本国憲法  
教育基本法  
学校教育法  
宮崎県の教育方針  
延岡市の教育方針

【学校の教育目標】  
豊かな心を持ち、自ら学び、  
最後までやりぬく児童の育成  
○ やさしい子  
○ かしこい子  
○ たくましい子

児童の実態  
社会の要請  
教師の願い  
保護者の願い  
地域社会の実情

## 【道徳教育の重点目標】

- 規則正しく生活し、より高い目標に向かって努力する子ども
- 誰に対しても思いやりの心をもって接し、互いに助け合う子ども
- 生命の尊さを知り、美しいものに感動し畏敬の念をもつ子ども
- 約束や社会のきまりを守り、自分の役割に責任をもって行動する子ども

## 【学年別重点目標】

1年	◎ 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接すること。 ○ 約束やきまりを守り、みんなが使うものを大切にする。
2年	◎ 生きることのすばらしさを知り、生命を大切にするこ と。 ○ 気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、 明るく接すること。
3年	◎ 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。
4年	◎ 相手のことを思いやり、進んで親切にすること。 ○ 約束や社会のきまりの意義を理解し、それを守る。
5年	◎ みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくると ともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団 生活の充実に努める。 ○ より高い目標を立て、希望と勇気を持ち、困難があつ てもくじけずに努力をして物事をやり抜くこと。
6年	◎ 友達と互い信頼し、学び合って友情を深め、異性につ いても理解しながら、人間関係を築いていくこと。 ○ 誰に対しても差別をすることや偏見をもつことなく、 公正、公平な態度で接し、正義の実現に努めること。

## 【道徳の時間の指導】

- ・年間計画を基に、道徳教育と全教育課程の関連を図り、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深める。
- ・本校の道徳の時間の重点内容項目として生命尊重、思いやりを掲げ、各学年の重点内容項目と併せて年間を通して指導していく。

## 総合的な学習の時間

現代社会の課題や自分にとって切実な課題に取り組む学習を通して、自分の生き方を探求する態度と実践力を育てる。  
横断的・探求的な学習を通して、児童の道徳性を、より発展的・調和的に育む。

## 特別活動

集団の一員としての自覚を深め、互いに協力して、よりよい生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。  
諸行事が内包する道徳的価値を意図的・計画的に重点化して体験させることにより、望ましい道徳性の育成を図る。

## 外国語活動

日本人としての自覚を持ち、世界の人々と積極的に関わろうとする態度を育てる。

各教科	
国語	互いの立場や考えを尊重し、伝え合う力を高めるとともに、豊かな言語感覚と、国語を尊重する態度を育てる。
社会	地域社会に対する誇りと愛情を育てるとともに、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てる。
算数	見通しをもち、筋道を立てて考え、進んで生活や学習に生かそうとする態度を育てる。
理科	体験活動を通して、自然を愛する心情を養うとともに、生命を尊重し、自然環境を大切にすることを育てる。
生活	自然とのかかわりに関心をもつとともに、自分自身について考えながら生活上必要な習慣や自立への基礎を養う。
音楽	音楽を愛好する心情と感性を育て、豊かな情操を養う。
図工	美しいもの、崇高なものなどを尊重し、造形的な創造による、豊かな情操を養う。
体育	適切な運動の経験を通して、健康安全に気をつけ、ねばり強くやりとげる意志ときまりを守る態度を育てる。
家庭	家族の一員として、家庭での親愛の情を育てるとともに、生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

## 環境の整備

言語環境を整え、豊かな情操を培う。  
学校美化活動を推進する。

## 家庭・地域社会との連携

家庭及び地域社会とともに道徳教育の充実に目指すといった観点に立ち、地域の人材を積極的に活用することにより、豊かな感動を体験させる。

## 人権教育

一人一人の人格を認め、豊かな人間性を育成するために、ふれあいや体験的な活動を推進する。

## 情報教育

各教科や道徳の時間において情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度の育成を図る。